SONY®

2-345-277-**06**(1)

LCDマルチファンクションディスプレイ

MFM-HT75W
MFM-HT95

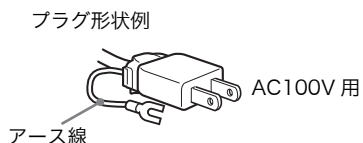
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この
装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しております。

目次

使用上のご注意

電源について

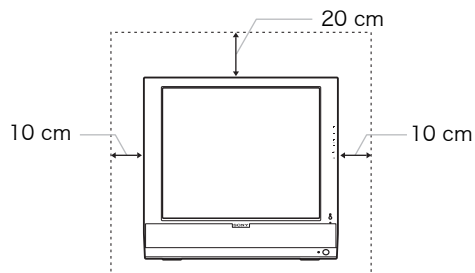
付属の電源コードをお使いください。別売りの電源コードをお使いになる場合は、下図プラグ形状例を参考にしてください。
安全のため、電源コードにはアース線がついています。電源コンセントにプラグを差し込む前に、必ずアース接続を行ってください。電源コードを抜くときは、先にプラグを抜いてからアース線をはずしてください。

アースキャップ及びケーブルキャップは幼児の手の届かないところへ保管する

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
特に小さいお子様にはご注意ください。

使用・設置場所について

次のような場所での使用・設置はおやめください。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 振動の多い場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

- 通気口に、新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどがかかり、通気が妨げられないようご注意ください。
- 設置するときは、本機の周囲に下図に示す空間を空けてください。通気が妨げられて本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

液晶画面について

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面ムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

内蔵スピーカーについて

スピーカーからは磁気が発生していますので、磁気テープや磁気ディスクなどはスピーカー開口部から離しておいてください。データが破損するおそれがあります。

液晶ディスプレイパネルについて

本機の液晶ディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのムラが見える場合があります。
これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
これらの点をご了承のうえ、本機をお使いください。

お手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

搬送するときは

- 本機を運ぶときは、本機につないでいるケーブルなどをすべてはずし、画面を傷つけないよう注意し、液晶ディスプレイの両側をしっかり持ってください。落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などをさけるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- **廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

廃棄するときは

廃棄するときは

このマークが表示されている弊社製品は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。
詳細は弊社ホームページ http://www.sony.co.jp/pcrecycle/ をご参照ください。

- **一般の廃棄物と一緒にしないでください。**

ごみ廃棄場で処分されるごみの中にディスプレイを捨てないでください。

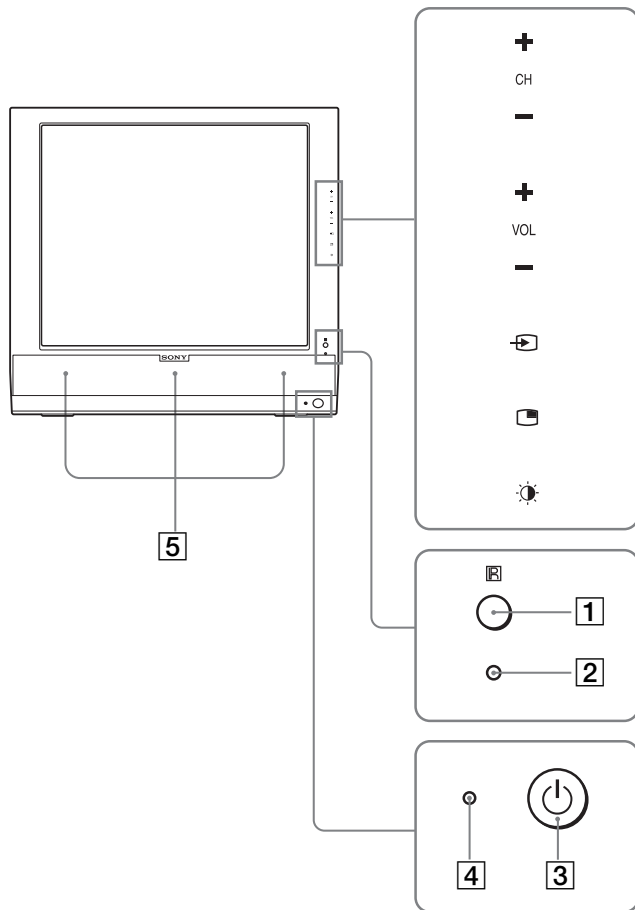
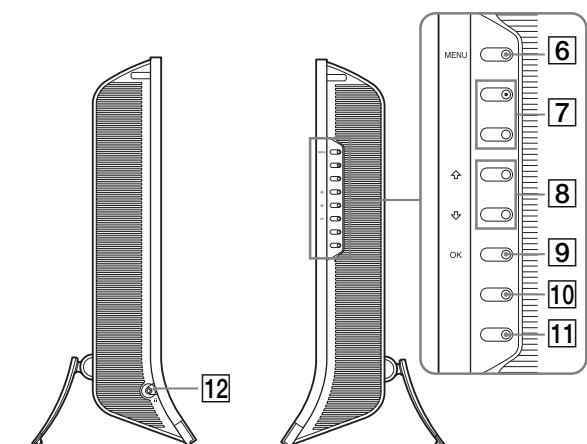
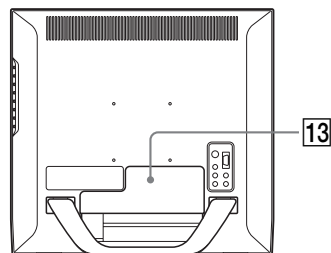
- **本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

壁またはマウンティングアームに取り付けるときは

ディスプレイを壁またはマウンティングアームに取り付けてご使用になる場合、取り付け作業は専門業者にご依頼ください。

各部の名前とはたらき

使いかたについての詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。

液晶ディスプレイ前面

液晶ディスプレイ側面

液晶ディスプレイ後面

1 **リモコンセンサー**
リモコンからの操作を受けるセンサーです。センサーを紙などでおおわないようにしてください。

2 **ブライトセンサー（32 ページ）**
周囲の明るさを検知するためのセンサーです。センサーを紙などでおおわないようにしてください。

3 **⏻（電源）スイッチ（14 ページ）**
ディスプレイの電源を入 / 切するときに押します。

4 **⏻（電源）ランプ（14、31 ページ）**
電源が入ると ⏻（電源）ランプが緑色に点灯します。
省電力状態のときは、オレンジ色に点灯します。
スタンバイ状態またはオフタイマー機能使用中は、赤色に点灯します。

5 **ステレオスピーカー（31 ページ）**
音声を出力します。

6 **MENU（メニュー）ボタン（19 ページ）**
メニュー画面を出すときや、消すときに押します。

7 **CH+/ −（チャンネル）ボタン（18 ページ）**
チャンネルを切り換えるときに押します。

8 **⬆/⬇ または VOL+/-(音量調節）ボタン（19、31 ページ）**
メニュー画面でメニュー項目を選んだり、調整したりするときに使います。
また、音量調節バーを出してスピーカーの音量を調節します。

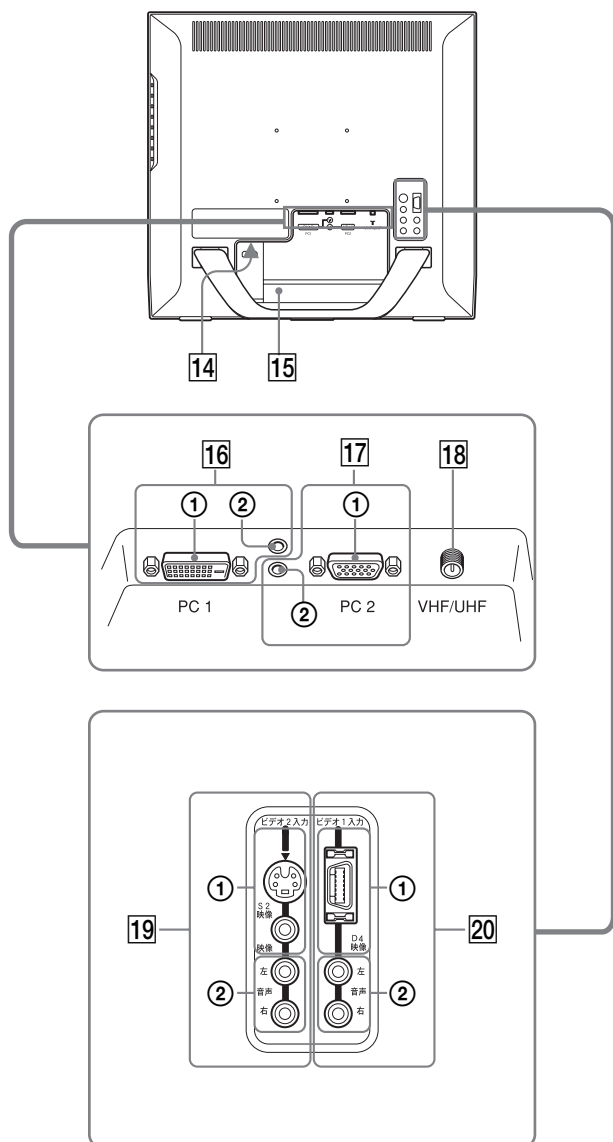
9 **⇥（入力切換）/OK ボタン（14、19 ページ）**
このボタンは次の 2 通りのはたらきをします。
⇥（入力切換）ボタンとして：
二台のコンピュータと二台の映像機器をつないでいる場合、PC1/PC2/TV/ ビデオ 1/ ビデオ 2 の間で入力信号を切り換えます。
OK ボタンとして：
⬆/⬇ボタン 8 で選んだメニュー項目や調整値を決定します。

⑩ (PinP) ボタン（27 ページ）
PIP（Picture In Picture）設定を切り換えるときに使います。
押すたびに、入 / 切が切り換わります。

⑪ (画質モード）ボタン（32 ページ）
画質モードを切り換えるときに使います。

⑫ ヘッドホン端子（31 ページ）
ヘッドホンをつなぎます。

⑬ 端子カバー（11 ページ）
ディスプレイにケーブルやコード類を接続するときにはずします。

液晶ディスプレイ後面

14 電源入力端子（14 ページ）
付属の電源コードをつなぎます。

15 盗難防止用ロック
キーケーブルロックなど、市販の盗難防止用ケーブルをつなぎます。
盗難防止用ケーブルについての連絡先は、日本ポラデジタル（株）営業部です。

16 PC1 端子

① **PC1 用 DVI-D 入力端子 (デジタル RGB)（11 ページ）**
DVIRev.1.0 準拠のデジタル RGB の映像信号を入力します。

② **PC1 用音声入力端子（11 ページ）**
PC1 に接続したコンピュータやその他の機器の音声出力端子につないで、音声信号を入力します。

17 PC 2端子

① **PC 2用HD15 入力端子 (アナログ RGB)（11 ページ）**
アナログ RGB の映像信号（0.700 Vp-p、正極性）と同期信号を入力します。

② **PC 2用音声入力端子（11 ページ）**
PC 2に接続したコンピュータやその他の機器の音声出力端子につないで、音声信号を入力します。

18 VHF/UHF 端子（13 ページ）
アンテナからの信号を入力します。

19 ビデオ２端子

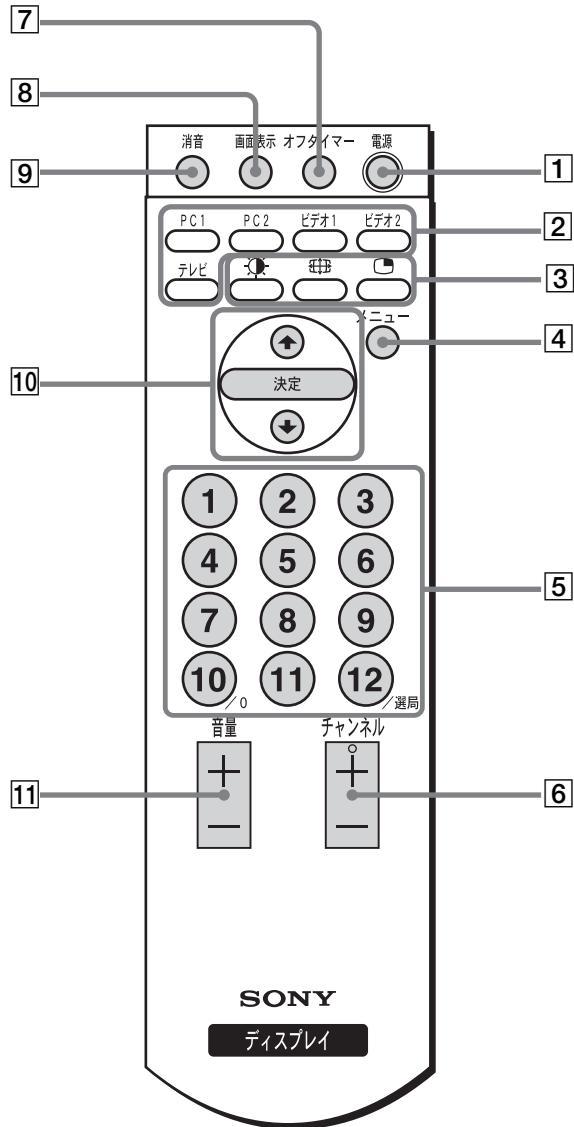
① **ビデオ２用コンポジット／ S 映像入力端子（13 ページ）**
コンポジット信号または S 映像信号を入力します。
コンポジット入力端子と S 映像入力端子の両方に映像機器を接続している場合、S 映像入力端子の映像が映ります。

② **ビデオ２用音声入力端子（13 ページ）**
ビデオ２に接続した VCR やその他の機器の音声出力端子につないで、音声信号を入力します。

20 ビデオ１端子

① **ビデオ１用 D4 映像入力端子（12 ページ）**
コンポーネント映像信号を入力します。

② **ビデオ１用音声入力端子（12 ページ）**
ビデオ１に接続した DVD プレーヤーやその他の機器の音声出力端子につないで、音声信号を入力します。

リモコン

1 ⏻（電源）スイッチ（14 ページ）
ディスプレイの電源を入 / 切するときに押します。

2 入力切換ボタン
PC 1（11 ページ）：
ディスプレイ後面の PC1 端子 (DVI-D) に入力された信号を選びます。
PC 2（11 ページ）：
ディスプレイ後面の PC 2端子 (HD15) に入力された信号を選びます。
ビデオ 1（12 ページ）：
ディスプレイ後面のビデオ 1 端子 (D4 映像) に入力された信号を選びます。
ビデオ 2（13 ページ）：
ディスプレイ後面のビデオ 2 端子 (コンポジット /S 映像) に入力された信号を選びます。
TV（16 ページ）：
TV の入力信号を選びます。

3 機能選択ボタン
☼（画質モード）（32 ページ）：
押すたびに画質モードが切り換わります。
（ズーム）（25 ページ）：
押すたびにズームの設定が切り換わります。
（PIP）（27 ページ）：
押すたびに PIP の設定が切り換わります。

4 メニューボタン（19 ページ）
メニュー画面を表示させるときや、消すときに押します。ディスプレイの MENU ボタンと同じはたきをします。

5 数字ボタン（18 ページ）
チャンネルを選ぶときに使います。

6 チャンネル＋／－ボタン（18 ページ）
テレビのチャンネルを切り換えるときに押します。
ディスプレイの CH ＋／－ボタンと同じはたらきをします。

7 オフタイマーボタン（33 ページ）
くりかえし押して、一定時間後にディスプレイの電源が自動的に切れるよう設定します。オフタイマーを設定すると、⏻（電源）ランプが赤色に点灯します。

8 画面表示ボタン（19 ページ）
一度押すと、現在のチャンネル番号などが表示されます。もう一度押すと、表示は消えます。

9 消音ボタン（19 ページ）
一度押すと、音声が消えます。このボタンをもう一度押すか、音量 + ボタンを押すと、音声が戻ります。

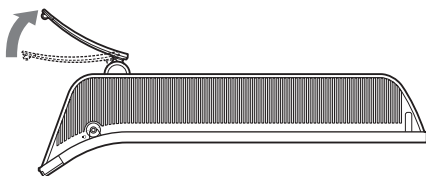
10 ⬆/⬇ および決定ボタン（19 ページ）
⬆/⬇ ボタンを押して、メニュー項目を選んだり、調整をします。決定ボタンを押して、選んだ項目や調整値を確定します。
ディスプレイの ⬆/⬇ ボタンおよび OK ボタンと同じはたらきをしますが、リモコンの ⬆/⬇ ボタンを押して音量の調節はできません。

11 音量 +/- ボタン（31 ページ）
音量を調節するときに押します。

ちょっと一言
数字ボタンの「5」およびチャンネル＋ボタンには、凸部 (突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

接続と設定

本機をお使いになる前に、下記のものがそろっているか確認してください。
- 液晶ディスプレイ
- リモコン
- 単４形乾電池（２）
- 電源コード
- HD15-HD15 ビデオ信号ケーブル（アナログ RGB）
- DVI-D ビデオ信号ケーブル（デジタル RGB）
- オーディオ接続コード（ステレオミニプラグ）
- 75Ω 同軸ケーブル
- アンテナ変換アダプター
- CD-ROM（Windows/Macintosh ユーティリティ / 取扱説明書など）
- 保証書
- クイックセットアップガイド
- 安全のために
- ソニーご相談窓口のご案内

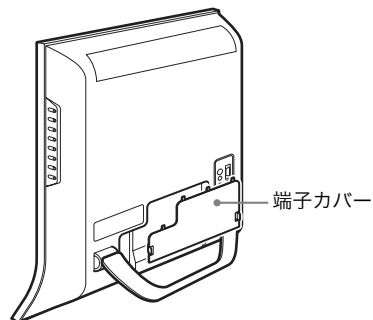
準備１：スタンドをひろげる

ご注意
お買い上げ時には、ディスプレイのスタンド部分は折りたたまれています。ディスプレイを立てる前に、必ずスタンドをひろげてください。折りたたまれたまま立てようとすると、ディスプレイが倒れるおそれがあります。

準備２：ケーブルをつなぐ

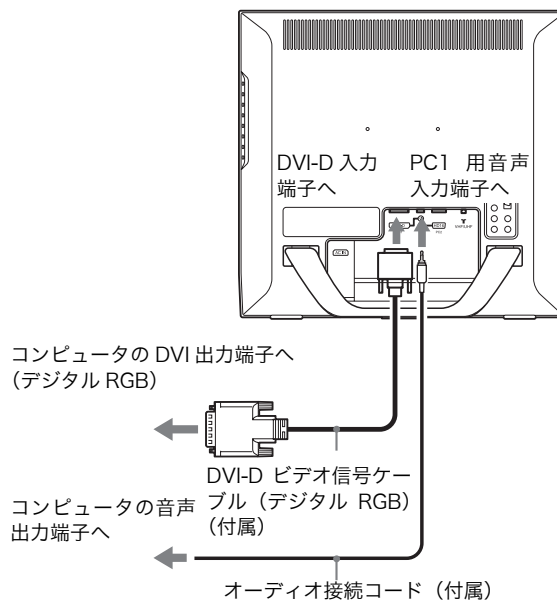
- **接続する前に、ディスプレイ本体、コンピュータ、およびその他の機器の電源を切ってください。**
- **次の機器をつなぐときは：**
  - **HD15 出力端子（アナログ RGB）のあるコンピュータをつなぐときは、11 ページの「PC ２端子にコンピュータをつなぐ」をご覧ください。**
  - **コンポーネント映像出力端子のある映像機器をつなぐときは、12 ページの「ビデオ１端子に映像機器をつなぐ」をご覧ください。**
  - **コンポジット／S映像出力端子のある映像機器をつなぐときは、13 ページの「ビデオ２端子に映像機器をつなぐ」をご覧ください。**
  - **アンテナをつなぐときは、13 ページの「アンテナをつなぐ」をご覧ください。**

ご注意
ビデオ信号ケーブルのピンに、直接手を触れないでください。ピンが曲がるおそれがあります。

端子カバーを取りはずす

フックを押して端子カバーを手前にひきます。

■ PC １端子にコンピュータをつなぐ

次のように、DVI 端子（デジタル RGB）のあるコンピュータをつなぎます。

付属の DVI-D ビデオ信号ケーブル（デジタル RGB）とオーディオ接続コードを使って、ディスプレイの PC1 端子に接続する。

■ PC ２端子にコンピュータをつなぐ

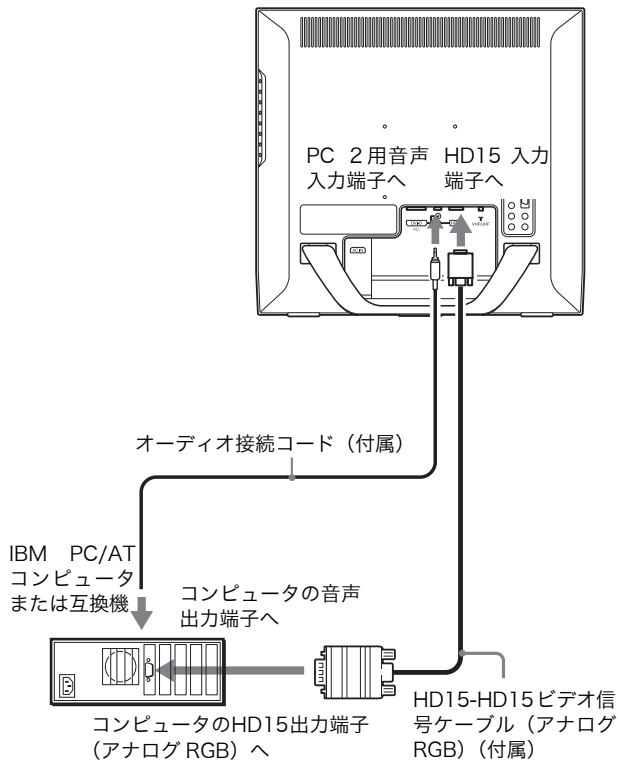
次のように、HD15 端子（アナログ RGB）のあるコンピュータをつなぎます。

付属の HD15-HD15 ビデオ信号ケーブル（アナログ RGB）とオーディオ接続コードを使って、ディスプレイの PC ２端子に接続する。

次の図のように、つなぐコンピュータに合わせて接続します。

IBM PC/AT コンピュータまたは互換機につなぐとき

Macintosh コンピュータにつなぐとき

Macintosh コンピュータにつなぐときは、必要に応じて市販のアダプタをお使いください。アダプタは、先にコンピュータに差し込んでから、ビデオ信号ケーブルにつなぎます。

■ ビデオ１端子に映像機器をつなぐ

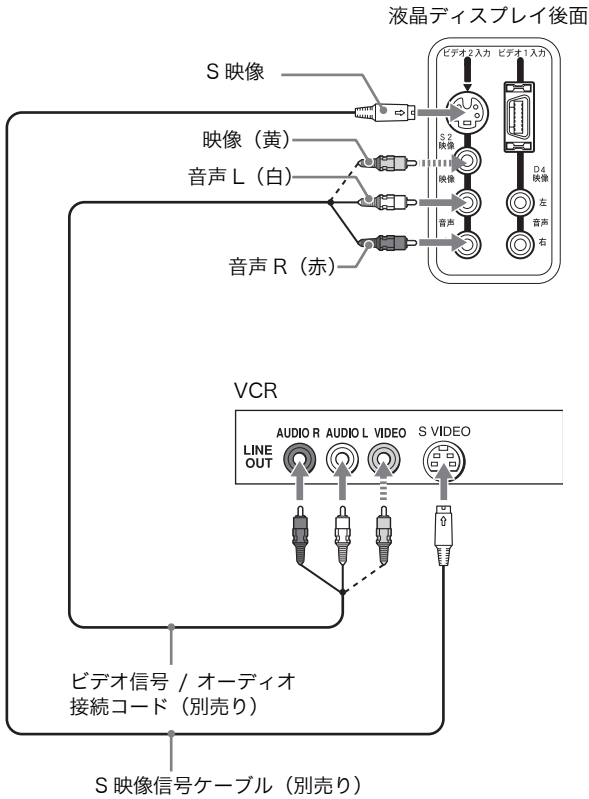
次のように、DVD プレーヤーなどのコンポーネント映像出力端子のある映像機器をつなぎます。

別売りの D 端子／コンポーネントビデオケーブルとオーディオ接続コードを使って、ディスプレイのビデオ１端子に接続する。

* お使いのDVDプレーヤーにD映像出力端子があるときは、D映像ケーブルを使用いただけます。

■ ビデオ２端子に映像機器をつなぐ

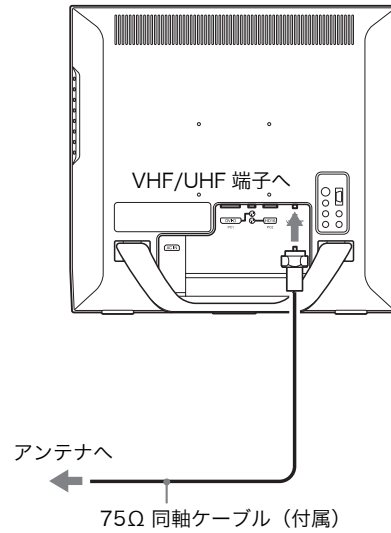
次のように、VCR などのコンポジット /S 映像出力端子のある映像機器をつなぎます。

別売りのビデオ信号ケーブルとオーディオ接続コードを使って、ディスプレイのビデオ２端子に接続する。

ご注意

コンポジット入力端子と S 映像入力端子の両方に映像機器をつないでいるときは、S 映像入力端子につないだ機器の映像が映ります。

■ アンテナをつなぐ

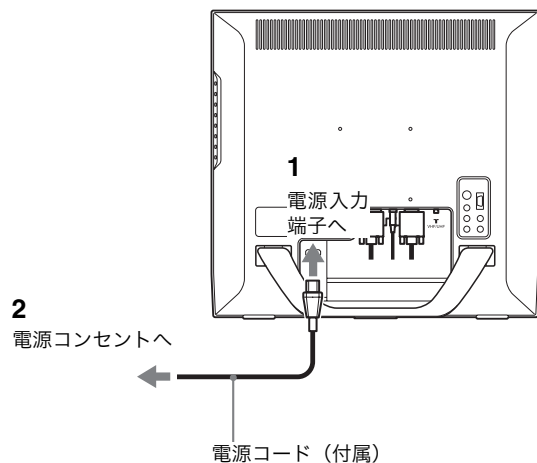
次のように、テレビ放送受信用のアンテナをつなぎます。

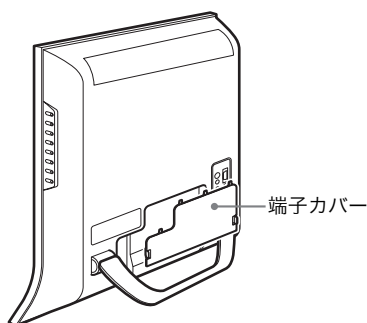
付属の 75Ω 同軸ケーブルを使って、ディスプレイの VHF/UHF 端子に接続する。

ご注意

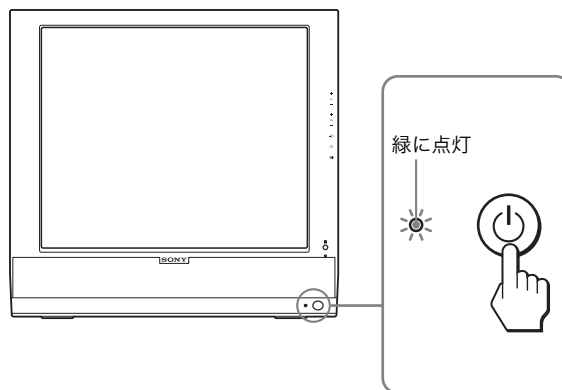
きれいな画像をお楽しみいただくために、アンテナ接続には 75Ω 同軸ケーブルをご使用ください。300Ω ツイン・リードケーブルは電波ノイズなどの影響を受けやすく、受信障害の原因となります。300Ω ツイン・リードケーブルを使う場合は、ケーブルと本機とをできるだけ離してご使用ください。

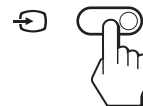
準備３：電源コードをつなぐ

1 本機の電源入力端子に、付属の電源コードを突き当たるまで差し込む。

2 電源コンセントへ突き当たるまで差し込む。

準備４：端子カバーをもどす

端子カバのーフックを押さえながら、カチッと音がするまで本機にはめこみます。

準備５：電源を入れる

1 本機前面の ⏻（電源）スイッチを押す。
⏻（電源）ランプが緑色に点灯します。

2 コンピュータやその他の映像機器の電源を入れる。

3 ⊕ボタンを押して、表示したい入力信号を選ぶ。

⊕ボタンを押すたびに、入力が切り換わります。

画面表示	入力
DVI-D: PC1	PC1 用 DVI-D 入力端子 (デジタル RGB)
HD15: PC2	PC2 用 HD15 入力端子（アナログ RGB)
TV	TV
⊕ : VIDEO 1	ビデオ 1 用 D4 映像入力端子
⊕または⊕ : VIDEO 2	ビデオ２用コンポジット /S 映像入力端子

ご注意
PIP 機能を使っているときに⊕ボタンまたは入力切換ボタンを押すと、PIP 機能が解除されます。このときは、選んだ入力の映像が、画面全体に映し出されます。PIP 機能を再び使うには、PIP 設定メニューで「PIP 入」を選ぶか、▣ ボタンを押して PIP 機能を入にしてください（19、27 ページ）。

ちょっと一言
・ リモコンの入力切換ボタンで、入力を切り換えることもできます。
・ TV の入力を選ぶと、チャンネル番号が画面右上に表示されます。
・ 子画面への入力を選択するには、各種切換メニューの「PIP」で「子画面選択」を選んで切り換えます（27 ページ）。子画面に TV の入力を選ぶと、チャンネル＋ / －ボタンでチャンネルを切り換えることができます。

本機の電源を入れても画面に画像が出ないときは

- ビデオ信号ケーブルや電源コードを正しくつないでいるか確認する。
- 「No Input Signal」と表示されているとき
  - コンピュータが省電力状態になっている。キーボードのキーのどれかを押してみるか、マウスを動かしてみる。
  - ⊕ボタンを押して、入力切り換えが正しいか確認する（14 ページ）。
- 「Cable Disconnected」と表示されているとき
  - ビデオ信号ケーブルを正しくつないでいるか確認する。
  - ⊕ボタンを押して、入力切り換えが正しいか確認する（14 ページ）。
- 「Out of Range」と表示されているとき
  本機をつなぐ前につないでいたディスプレイがあるときは、そのディスプレイにつなぎ換えて、画像が出るか確認する。画像が出たら、コンピュータで次の表の範囲に設定する。

MFM-HT75W

	アナログ RGB	デジタル RGB
水平周波数	28 － 69 kHz	28 － 48 kHz
垂直周波数	48 － 85 Hz	60 Hz
解像度	1280×768以下	1280×768以下

MFM-HT95

	アナログ RGB	デジタル RGB
水平周波数	28 － 86 kHz	28 － 64 kHz
垂直周波数	48 － 85 Hz[1]	60 Hz
解像度	1280×1024以下	1280×1024以下

[1] 解像度が 1280 × 1024 の場合、垂直周波数は 48 ～ 75 Hz 以内に設定してください。

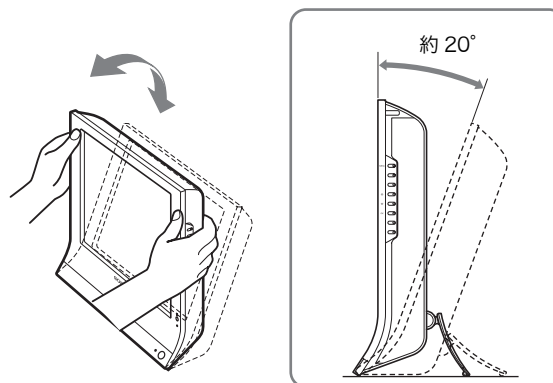
詳しくは、「本機の症状と対処のしかた」（35 ページ）をご覧ください。

モニタ用のドライバは不要です。
本機はプラグ & プレイ機能（DDC）を搭載しており、Windows のプラグ & プレイ機能によりモニタの情報が自動的に認識されます。このため、モニタ用の特別なドライバは通常不要です。本機とコンピュータを初めて起動したとき、設定用のウィザードが表示される場合は、その手順に従ってください。プラグ & プレイモニタが自動的に選ばれて、使える状態になります。

これで自動的に垂直周波数は 60 Hz になります。
本機ではちらつきは目立ちませんので、このままの垂直周波数でお使いいただけます。垂直周波数を上げる必要はありません。

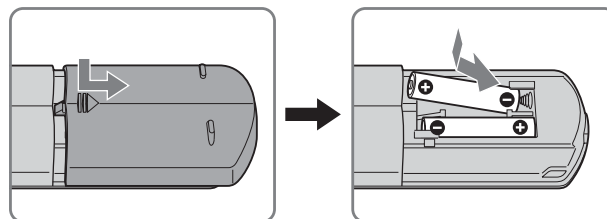
準備６：ディスプレイの角度を変える

下図の範囲で画面の角度を変えることができます。

画面両側を持ち、画面の角度を調整する。

ディスプレイをより快適にお使いいただくために
机や椅子の高さに合わせて、画面が反射しない見やすい角度に調整してください。

ご注意
- 画面の角度を調整するときは、画面を机などにぶつけないように、静かに動かしてください。
- 画面の角度を調整するときは、ディスプレイを机から落とさないようご注意ください。

準備７：リモコンに電池を入れる

付属の単４形乾電池２本を、リモコンの電池挿入部内部の図を確認しながら、＋極と－極を正しく入れる。

ご注意
- リモコンを長期間使わないときは、電池もれを防ぐため、リモコンから電池を取り出してください。
- リモコンを落としたり、ぬらしたり、直射日光の当たる場所や暖房器具のそば、または湿度の高い場所に放置しないでください。

テレビを見る

バンドを切り換える

受信したい放送をVHF/UHFまたはVHF/CATV（ケーブルテレビ）から選び、必要な設定をします。

1　MENUボタンを押す。

2　↑/↓ボタンを押して、(テレビ設定）を選び、OKボタンを押す。
テレビ設定メニューが出ます。

3　↑/↓ボタンを押して、「バンド」を選び、OKボタンを押す。

4　↑/↓ボタンを押して、VHF/UHFまたはVHF/CATVを選び、OKボタンを押す。
UHF:　VHF/UHFのチャンネルを選びます。
CATV：VHF/CATV（ケーブルテレビ）のチャンネルを選びます。

5　MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

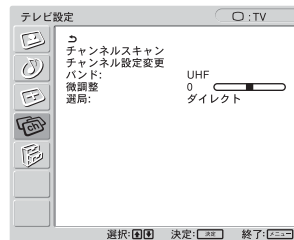
ご注意
- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定をすることはできません。
- バンドの初期設定は、「UHF」です。
- バンドを切り換えたときは、チャンネル設定をしなおしてください。（16、17ページ）

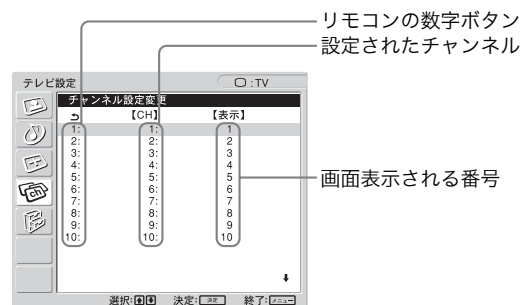
チャンネルを自動設定する

初めてテレビを見る前に、チャンネル設定を行ってください。
チャンネルスキャンで自動設定すると、受信するVHF/UHF放送が、リモコンの1～12の数字ボタンに自動的に設定されます。チャンネルスキャンは、放送のある時間帯に行ってください。

1　MENUボタンを押す。

2「選局」が「ダイレクト」になっていることを確認する。
選局の方法について詳しくは、「選局方法を選ぶ」（18ページ）をご覧ください。

3　↑/↓ボタンを押して、(テレビ設定)を選び、OKボタンを押す。
テレビ設定メニューが出ます。

4　↑/↓ボタンを押して、「チャンネルスキャン」を選び、OKボタンを押す。
チャンネルスキャンメニューが出ます。

5　↑/↓ボタンを押して、「開始」を選び、OKボタンを押す。
「自動チャンネル設定実行中です」というメッセージが表示され、設定が始まります。設定が終わると、次のような画面が表示されます。

ちょっと一言
チャンネルスキャンをキャンセルするには、「チャンネルスキャン」メニューで「取消」を選び、OKボタンを押します。

6　設定されたチャンネルを確認する。
自動設定されたチャンネルを変更するには、「チャンネルを手動設定する」（17ページ）をご覧ください。

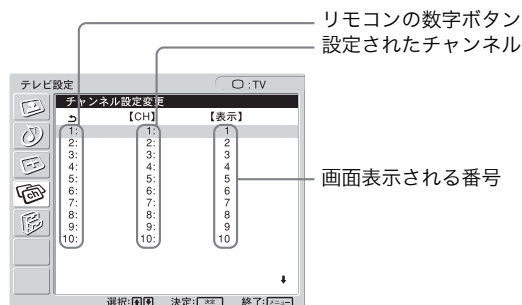
7　MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

チャンネルを手動設定する

自動設定されたチャンネルを変更したり、画面表示されるチャンネル番号を書き換えたりすることができます。

1　MENU ボタンを押す。

2　↑/↓ ボタンを押して、(テレビ設定) を選び、OK ボタンを押す。
テレビ設定メニューが出ます。

3　↑/↓ ボタンを押して、「チャンネル設定変更」を選び、OK ボタンを押す。
チャンネル設定変更画面が出ます。

4　↑/↓ ボタンを押して、設定を変更したいリモコンの数字ボタンを選び、OK ボタンを押す。

5　↑/↓ ボタンを押して、設定するチャンネル（CH）を変更し、OK ボタンを押す。
例えば、リモコンの数字ボタン「1」を押して 3 チャンネルを見たいときは、「3」を選びます。

6　↑/↓ ボタンを押して、画面表示される番号（表示）を変更し、OK ボタンを押す。
画面表示の番号を、1 から 62 の間で変更します。

変更したいリモコンの数字ボタンごとに、手順 4 から 6 を繰り返します。

7　MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

ケーブルテレビを見るには

本機では、C13 ～ C38 までのケーブルテレビチャンネルを受信することができます。
ケーブルテレビを見るには、ケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。また、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。詳しくは、お近くのケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

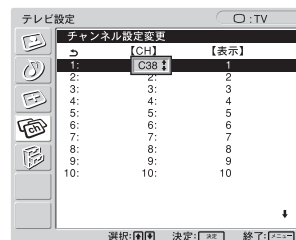
1　「選局」が「ダイレクト」になっていることを確認する。

2　「バンド」が「CATV」になっていることを確認する。
バンドの切り換えについて詳しくは、「バンドを切り換える」（16 ページ）をご覧ください。

ご注意
バンドの初期設定は、「UHF」です。

3　↑/↓ ボタンを押して、「チャンネル設定変更」を選び、OK ボタンを押す。
チャンネル設定変更画面が出ます。

4　↑/↓ ボタンを押して、チャンネルを設定するリモコンの数字ボタンを選び、OK ボタンを押す。

5　↑/↓ ボタンを押して、チャンネル（CH）を選び、OK ボタンを押す。
例えば、リモコンの数字ボタン「1」を押して、C38 チャンネルを見たいときには、「C38」を選びます。

6　↑/↓ ボタンを押して、画面表示される番号（表示）を選び、OK ボタンを押す。

7　設定したいリモコンの数字ボタンごとに、手順 4 から 6 を繰り返す。

8　MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

画像を微調整する

テレビの映像がきれいに映るよう、手動で調整することができます。

1　MENU ボタンを押す。

2　↑/↓ ボタンを押して、(テレビ設定) を選び、OK ボタンを押す。
テレビ設定メニューが出ます。

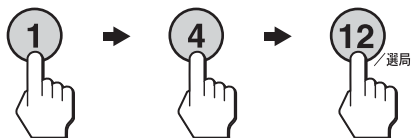
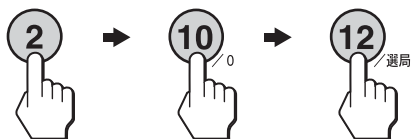
3 ↑/↓ ボタンを押して、「微調整」を選び、OK ボタンを押す。

4 ↑/↓ ボタンを押して、画像がきれいにみえるよう調整し、OK ボタンを押す。

5 MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

選局方法を選ぶ

「ダイレクト」選局は、リモコンの各数字ボタンにチャンネルを設定し、ボタンを押して選局する方法です。受信できるチャンネル数は、最大 12 局です。
一方、「10 キー」選局は、リモコンの数字ボタンを使って、チャンネルの番号を入力する方法です。この方法では、チャンネル番号を十の位、一の位の順に入力し、12/選局ボタンを押して確定します。0 の入力には、10/0 ボタンを使います。

例：14 チャンネルを選ぶ

例：20 チャンネルを選ぶ

ちょっと一言

- ディスプレイの CH ＋／－ボタンやリモコンのチャンネル＋／－ボタンを押して、チャンネルを切り換えることもできます。
- 12/ 選局ボタンを押さなくても、約 3 秒後にチャンネルは切り換わりますが、押すとすぐに切り換えることができます。

1 MENU ボタンを押す。

2 ↑/↓ ボタンを押して、(テレビ設定) を選び、OK ボタンを押す。
テレビ設定メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「選局」を選び、OK ボタンを押す。
選局メニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して選局方法を選び、OK ボタンを押す。
ダイレクト：「ダイレクト」選局で選びます。
10 キー：「10 キー」選局で選びます。

5 MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

10 キー選局のときチャンネル＋／－ボタンで選ぶ放送を設定するには

チャンネルやケーブルテレビのチャンネルを選んだり、放送がないチャンネルをとばすよう設定することができます。

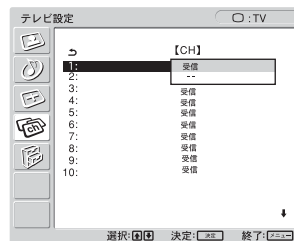
1 MENU ボタンを押す。

2 ↑/↓ ボタンを押して、(テレビ設定) を選び、OK ボタンを押す。

3 「選局」が「10 キー」になっていることを確認する。

4 ↑/↓ ボタンを押して、「チャンネル設定変更」を選び、OK ボタンを押す。

5 ↑/↓ ボタンを押して、設定をしたいチャンネルを選び、OK ボタンを押す。

6 ↑/↓ ボタンを押して、見たいチャンネルであれば「受信」を、とばしたいチャンネルなら「ー ー」を選び、OK ボタンを押す。
設定したいチャンネルごとに、手順 5 と 6 を繰り返します。

7 MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

その他の機能を使う

テレビを見るときは、次のようなリモコンのボタンをお使いください。

ボタン	はたらき
消音	音声を消します。このボタンをもう一度押すか、音量＋ボタンを押すと、音声が戻ります。（31 ページ）
画面表示	現在のチャンネル番号などを表示します。もう一度押すと、表示は消えます。
オフタイマー	一定時間後に電源が自動的に切れるよう設定します。（33 ページ）
☼	画質モードを切り換えます。（32 ページ）
◨	PIP を入／切します。押すたびに、「PIP 入」→「PIP 切」→「PIP 入」のように切り換わります。（27 ページ）
⊞	ズームのモードを切り換えます。押すたびに、以下のように切り換わります。（25 ページ） MFM-HT75W 「ノーマル」→「フル」→「ワイドズーム」→「ズーム」→「ノーマル」… MFM-HT95 「ノーマル」→「フル」→「16:9」→「ノーマル」…

ちょっと一言
リモコンの☼および◨ボタンと、ディスプレイの☼および◨ボタンは、同じはたらきをします。

調整する

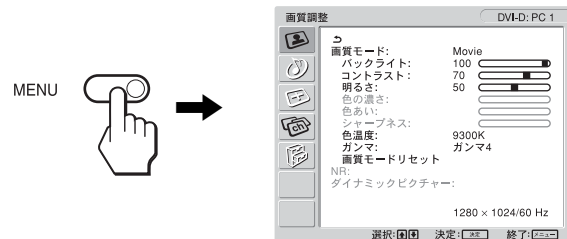
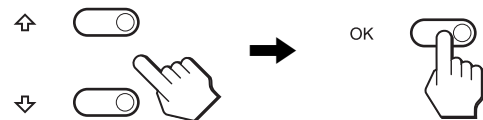
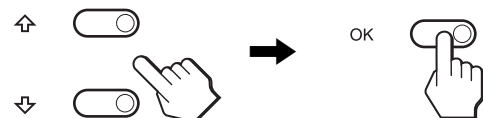
調整を始める前に
本機とコンピュータをつなぎ、両方の電源を入れ、30 分以上経過してから調整してください。最適な調整ができます。

メニューを使って、いろいろな調整や設定ができます。

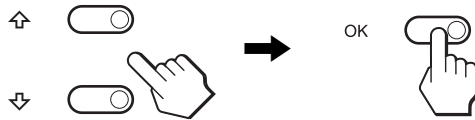
メニュー操作のしかた

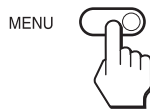
この取扱説明書では、主にディスプレイのボタンで操作のしかたを説明しています。
ただし、ディスプレイの「MENU ボタン」は、リモコンの「メニューボタン」と同じはたらきをします。また、ディスプレイの「↑/↓ ボタン」および「OK ボタン」は、リモコンの「↑/↓ ボタン」および「決定ボタン」と同じはたらきをします。

■ ディスプレイのボタンを使う

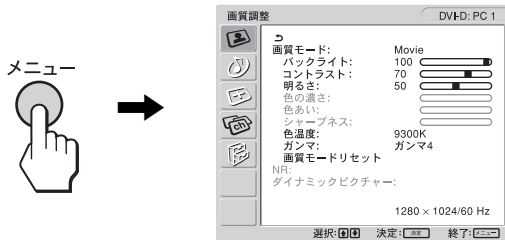
1 メニュー画面を出す。
MENU ボタンを押して、メニュー画面を出す。

2 調整したいメニューを選ぶ。
↑/↓ ボタンを押して選び、OK ボタンを押すと、選んだメニューの一番初めの項目に移動する。

3 調整したい項目を選ぶ。
↑/↓ ボタンを押して選び、OK ボタンを押して決定する。

⮌が表示されているときは
⮌を選ぶと、前の画面に戻ります。

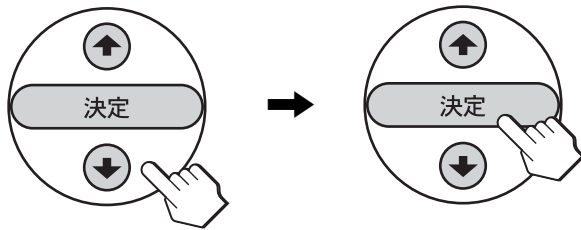
4　選んだ項目を調整する。

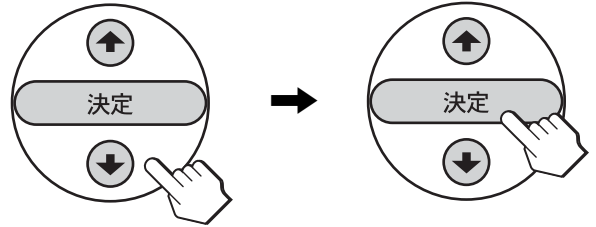
↑/↓ ボタンを押して調整し、OK ボタンを押す。
OK ボタンを押すと、調整値が設定されて前の画面に戻ります。

5　メニューを消す。

MENU ボタンを押すと、メニュー画面が消える。
MENU ボタンを押さなくても、調整後、約 45 秒たつと自動的に画面は消えます。

■ リモコンのボタンを使う

1　メニュー画面を出す。

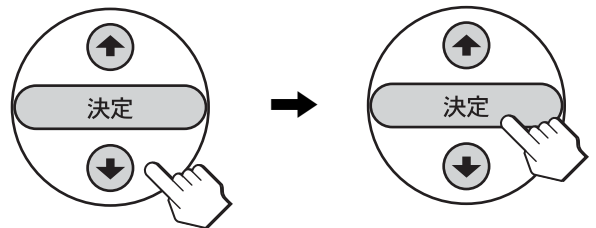
メニューボタンを押して、メニュー画面を出す。

2　調整したいメニューを選ぶ。

↑/↓ ボタンを押して選び、決定ボタンを押すと、選んだメニューの一番初めの項目に移動する。

3　調整したい項目を選ぶ。

↑/↓ ボタンを押して選び、決定ボタンを押して決定する。

↩が表示されているときは

↩を選ぶと、前の画面に戻ります。

4　選んだ項目を調整する。

↑/↓ ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。
決定ボタンを押すと、調整値が設定されて前の画面に戻ります。

5　メニューを消す。

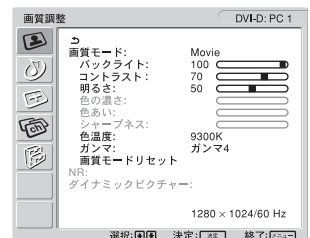
メニューボタンを押すと、メニュー画面が消える。
メニューボタンを押さなくても、調整後、約 45 秒たつと自動的に画面は消えます。

■ お買い上げ時の状態に戻す

「オールリセット」メニューを使って、お買い上げ時の状態に戻すことができます。ただし、「メニュー言語」の設定は戻りません。詳しくは、「お買い上げ時の設定に戻す」（30 ページ）をご覧ください。

画質調整メニュー

画質調整メニューでは、以下の項目が調整できます。

- 画質モード
- バックライト
- コントラスト（ピクチャー）
- 明るさ
- 色の濃さ
- 色あい
- シャープネス
- 色温度
- ガンマ
- 画質モードリセット
- NR
- ダイナミックピクチャー

ちょっと一言
画質モードごとに、これらの項目を設定することができます。さらに、入力ごとに、異なる画質モードを設定することができます。

■ PC 1 /PC 2に画質モードを設定する

ご使用の目的に合わせて、最適な画面の明るさを選びます。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。
画質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「画質モード」を選び、OK ボタンを押す。
画質モードメニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、希望の設定を選び、OK ボタンを押す。
お買い上げ時は Movie に設定されています。

- Game： 明るい映像になります。
- Movie： コントラストが強調されたクリアな映像になります。
- PC： トーンを抑え、落ち着いた映像になります。
- Auto： 周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調整します（自動輝度調整機能）。詳しくは、「自動輝度調整機能（ブライトセンサー）」（32 ページ）をご覧ください。

ご注意
「 Auto」を選ぶと、バックライトは調節できません。

■ TV ／ビデオ１／ビデオ２に画質モードを設定する

ご使用の目的に合わせて、最適な画面の明るさを選びます。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。
画質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「画質モード」を選び、OK ボタンを押す。
画質モードメニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、希望の設定を選び、OK ボタンを押す。
お買い上げ時は Vivid に設定されています。

- Vivid： コントラストとシャープネスが強調され、はっきりとした映像になります。
- Standard： 室内の明るさにあったコントラストの映像になります。
- Eco： 明るさを落とした映像になります。
- Auto： 周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調整します（自動輝度調整機能）。詳しくは、「自動輝度調整機能（ブライトセンサー）」（32 ページ）をご覧ください。

ご注意
「Auto」を選ぶと、バックライトは調節できません。

■ バックライトを調整する

画面が明るすぎると感じるときは、バックライトを調節して画面を見やすくします。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。
画質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「バックライト」を選び、OK ボタンを押す。
バックライトメニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、明るさのレベルを調整し、OK ボタンを押す。

■ コントラスト（ピクチャー）を調整する

コントラストメニューで、PC 1 ／ PC 2の映像の明暗の差（コントラスト）を調整することができます。TV ／ビデオ１／ビデオ２は、「コントラスト」メニューのかわりに「ピクチャー」メニューで調整します。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（画質調整モード）を選び、OK ボタンを押す。
画質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「コントラスト」（または「ピクチャー」）を選び、OK ボタンを押す。
コントラスト（ピクチャー）メニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して調整し、OK ボタンを押す。

■ 明るさを調整する
画像の明るさ（黒レベル）を調整します。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。
画質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「明るさ」を選び、OK ボタンを押す。
明るさメニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、明るさを調整し、OK ボタンを押す。

■ 色の濃さを調整する（TV ／ビデオ 1 ／ビデオ 2 のみ）
画像の色の濃さを調整します。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。
画質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「色の濃さ」を選び、OK ボタンを押す。
色の濃さメニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、色の濃さを調整し、OK ボタンを押す。

■ 色あいを調整する （TV ／ビデオ 2 のみ）
画像の色調を調整します。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。
画質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「色あい」を選び、OK ボタンを押す。
色あいメニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、色調を調整し、OK ボタンを押す。

■ シャープネスを調整する（TV ／ビデオ 1 ／ビデオ 2 のみ）
エッジ強調など、鮮鋭度の調整をします。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。
画質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「シャープネス」を選び、OK ボタンを押す。
シャープネスメニューが出ます。

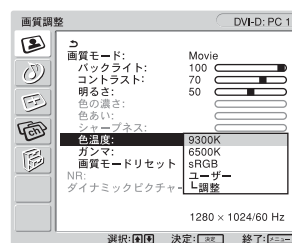
4 ↑/↓ ボタンを押して、シャープネスを調整し、OK ボタンを押す。

ご注意
ビデオ 1 に入力された 1080i 信号を選ぶと、シャープネスは調整できません。

■ 色温度を調整する（PC1 ／ PC2 のみ）
画像の白色の度合いを、あらかじめ設定された中から選びます。また、必要に応じて微調整をします。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。
画質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「色温度」を選び、OK ボタンを押す。
色温度メニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、色温度を調整し、OK ボタンを押す。
9300K から 6500K となるにつれて、青みがかった白色から赤みがかった白色へと変わります。「s RGB」を選ぶと、画像の色合いは s RGB プロファイルに調整されます。（s RGB カラー設定とは、業界標準のコンピュータ機器用色空間プロトコルです。）「s RGB」を選んだ場合、お使いのコンピュータも s RGB プロファイルに設定してください。

ご注意
- つないでいるコンピュータおよびその他の機器が s RGB に対応していない場合、画像の色は sRGB プロファイルに調整されません。
- 画質モードが「Auto」のとき、「sRGB」は選べません。

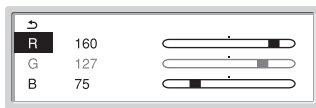
・「s RGB」を選ぶと、画質調整メニューの「コントラスト」、「明るさ」、「ガンマ」を調整できません。

色温度をさらに微調整するときは

1 **MENU ボタンを押す。**
メニュー画面が出ます。

2 **↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。**
画質調整メニューが出ます。

3 **↑/↓ ボタンを押して、「色温度」を選び、OK ボタンを押す。**
色温度メニューが出ます。

4 **↑/↓ ボタンを押して、「調整」を選び、OK ボタンを押す。**
色温度の微調整のメニューが出ます。

5 **↑/↓ ボタンで「R」（Red：赤）または「B」（Blue：青）を選び、OK ボタンを押す。↑/↓ ボタンで調整した後、OK ボタンを押す。**
「G」（Green：緑）を基準に、R や B の値を増減して色温度を変えるため、G の値は固定されています。

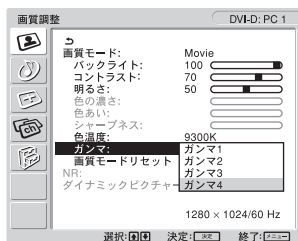
6 **↑/↓ ボタンを押して、を選び、OK ボタンを押す。**
新しい調整値が「ユーザー」として設定され、次から「ユーザー」を選ぶたびに同じ調整値が選ばれます。
色温度メニューに戻ります。

■ ガンマを調整する（PC1 ／ PC2 のみ）

画像の色合いを、オリジナル画像の色合いに近付けられます。

1 **MENU ボタンを押す。**
メニュー画面が出ます。

2 **↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。**
画質調整メニューが出ます。

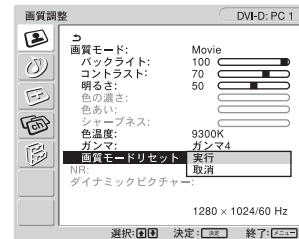
3 **↑/↓ ボタンを押して、「ガンマ」を選び、OK ボタンを押す。**
ガンマメニューが出ます。

4 **↑/↓ ボタンを押して、モードを選び、OK ボタンを押す。**

■ 画質モードをリセットする

画質モードの各種設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 **MENU ボタンを押す。**
メニュー画面が出ます。

2 **↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。**
画質調整メニューが出ます。

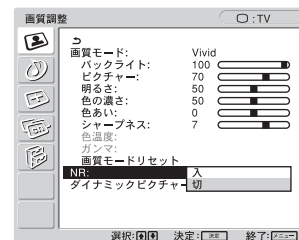
3 **↑/↓ ボタンを押して、「画質モードリセット」を選び、OK ボタンを押す。**
画質モードリセットメニューが出ます。

4 **↑/↓ ボタンを押して、モードを選び、OK ボタンを押す。**
・実行： 画質モードの現在の設定を、全て初期設定に戻します。
・取消： 画質モードリセットをキャンセルし、画質調整メニューに戻ります。

■ NR を設定する（TV ／ビデオ 1 ／ビデオ 2 のみ）

ノイズリダクション機能を入 / 切します。
この機能は、入力ごとに設定することができます。

1 **MENU ボタンを押す。**
メニュー画面が出ます。

2 **↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。**
画質調整メニューが出ます。

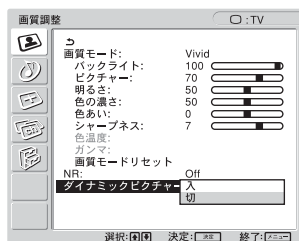
3 **↑/↓ ボタンを押して、「NR」を選び、OK ボタンを押す。**
NR メニューが出ます。

4 **↑/↓ ボタンを押して、モードを選び、OK ボタンを押す。**
・入： ノイズを減少させます。
・切： ノイズリダクション機能を切にします。

■ ダイナミックピクチャーを設定する（TV ／ビデオ１／ビデオ２のみ）

ダイナミックピクチャー機能を入 / 切します。
この機能は、入力ごとに設定することができます。

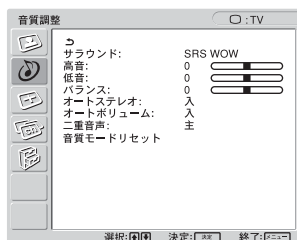
1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（画質調整）を選び、OK ボタンを押す。
画質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「ダイナミックピクチャー」を選び、OK ボタンを押す。
ダイナミックピクチャーメニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、モードを選び、OK ボタンを押す。
・入：映像のコントラストが強調されます。
・切：ダイナミックピクチャー機能を切にします。

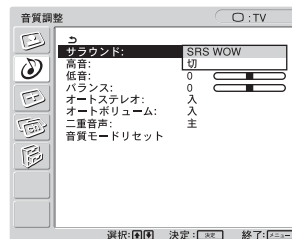
音質調整メニュー

音質調整メニューでは、以下の項目が調整できます。
各項目は、入力ごとに設定することができます。

・サラウンド
・高音
・低音
・バランス
・オートステレオ
・オートボリューム
・二重音声
・音質モードリセット

■ サラウンドを設定する

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（音質調整）を選び、OK ボタンを押す。
音質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「サラウンド」を選び、OK ボタンを押す。
サラウンドメニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、モードを選び、OK ボタンを押す。
・SRS WOW: 充分な低音とクリアな高音により豊かな臨場感が得られ、特に映画やゲームを迫力ある音で楽しめます。
・切： SRS WOW の効果を解除します。

「SRS WOW」は米国 SRS Labs 社が独自に開発した最新技術を使うことにより、身の回りの多種多様な音響製品の音質を飛躍的に向上させます。

■ 高音、低音、バランスを調整する

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（音質調整）を選び、OK ボタンを押す。
音質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「高音」「低音」または「バランス」を選び、OK ボタンを押す。

4 ↑/↓ ボタンを押して、希望の音質に調整し、OK ボタンを押す。

■ オートステレオを切り換える（TV のみ）

テレビのステレオ放送で雑音が気になるときは、音声をモノラルに切り換えて、チャンネルごとに雑音を軽減します。

1 雑音の多いチャンネルを映して、MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、(音質調整）を選び、OK ボタンを押す。
音質調整メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「オートステレオ」を選び、OK ボタンを押す。
オートステレオメニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、モードを選び、OK ボタンを押す。
・入：ステレオ放送時は「ステレオ」、モノラル放送では「モノラル」に、自動的に切り換わります。

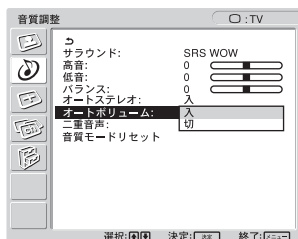
・切：　ステレオ放送で雑音が気になるとき、音声をモノラルに切り換えて雑音を減らします。

■「オートボリューム」を設定する（TV／ビデオ1／ビデオ2のみ）

一定の音量に保たれるよう設定します。

1　MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2　↑/↓ ボタンを押して、（音質調整）を選び、OKボタンを押す。
音質調整メニューが出ます。

3　↑/↓ ボタンを押して、「オートボリューム」を選び、OKボタンを押す。
オートボリュームメニューが出ます。

4　↑/↓ ボタンを押して、モードを選び、OKボタンを押す。
・入：　実際の放送の音量（コマーシャル時の音量変化など）に関係なく、一定の音量を保ちます。
・切：　実際の放送信号どおりに音量を出力します。

■ 二重音声を切り換える（TVのみ）

二か国語放送など二重音声のときに、聞きたい音声を選びます。

1　MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2　↑/↓ ボタンを押して、(音質調整）を選び、OKボタンを押す。
音質調整メニューが出ます。

3　↑/↓ ボタンを押して、「二重音声」を選び、OKボタンを押す。
二重音声メニューが出ます。

4　↑/↓ ボタンを押して、モードを選び、OKボタンを押す。
・主：　主音声を選びます。左右のスピーカーから、主音声が出ます。
・副：　副音声を選びます。左右のスピーカーから、副音声が出ます。
・主/副：左のスピーカーからは主音声、右のスピーカーからは副音声が出ます。

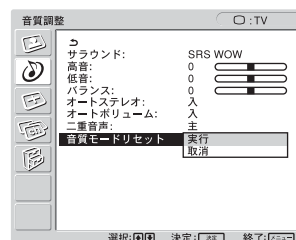
ご注意
ご覧になっている番組が主音声のみのとき、「副」または「主/副」を選ぶことはできません。

■ 音質モードをリセットする

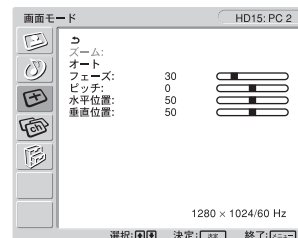
音質モードの各種設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

1　MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2　↑/↓ ボタンを押して、（音質調整）を選び、OKボタンを押す。
音質調整メニューが出ます。

3　↑/↓ ボタンを押して、「音質モードリセット」を選び、OKボタンを押す。
音質モードリセットメニューが出ます。

4　↑/↓ ボタンを押して、モードを選び、OKボタンを押す。
・実行：　音質モードの現在の設定を、全て初期設定に戻します。
・取消：　音質モードリセットをキャンセルし、音質調整メニューに戻ります。

画面モードメニュー

画面モードメニューでは、以下の項目が調整できます。
・ズーム
・オート
・フェーズ
・ピッチ
・水平位置
・垂直位置

■ ズームを設定する

画面比4:3の一般的な放送や、レターボックス映像などその他の画面比の映像を、お好きなズームモードで見ることができます。ズームモードは、入力ごとに設定することができます。

ちょっと一言
リモコンのボタンをくりかえし押して、ズームモードを切り換えることもできます。

1　MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2　↑/↓ ボタンを押して、(画面モード）を選び、OKボタンを押す。
画面モードメニューが出ます。

3 ⬆/⬇ ボタンを押して、「ズーム」を選び、OK ボタンを押す。
ズームメニューが出ます。

MFM-HT75W

MFM-HT95

4 ⬆/⬇ ボタンを押して、モードを選び、OK ボタンを押す。

MFM-HT75W の場合

- ノーマル： 元の画面比で表示します。
- フル： 画像を水平方向に拡大し（リニア）、画面比 15:9 のスクリーンいっぱいに表示します。スクイズ信号を表示するときに有効です。
- ワイドズーム： 元の画像をできるだけ保ちながら、水平方向に拡大し（ノンリニア）、画面比 15:9 のスクリーンいっぱいに表示します。
- ズーム： 画面比 15:9 のスクリーンと同じ比率になるように、画面を垂直、水平両方向に拡大して表示します。レターボックス映像を表示するときに有効です。

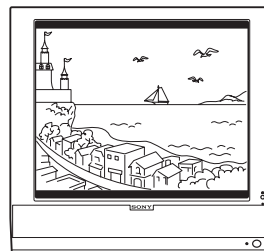
ご注意

- PC1 または PC2 の入力信号を選ぶと、「ズーム」と「ワイドズーム」は選べません。
- ビデオ 1 に入力された 1080i 信号を選ぶと、「ワイドズーム」は選べません。

MFM-HT95 の場合

- ノーマル： 元の画面比で表示します。
- フル： 画像を水平方向に拡大し（リニア）、画面比 5:4 のスクリーンいっぱいに表示します。
- 16:9： 画面比 5:4 のスクリーンと同じ比率になるように、画面を垂直、水平両方向に拡大して表示します。スクイズ信号を表示するときに有効です。

ご注意

- PC1 または PC2 の入力信号を選ぶと、これら 3 つの項目は選べません。
- ビデオ 1 に入力した 1080i、1035i または 720p 信号を選ぶと、「16:9」は選べません。
- このディスプレイは横縦比が 5:4 のため、テレビ信号などの横縦比が 4:3 のときには、画面の上下に黒い帯が表示されることがあります。

■ 自動画調整機能（PC2 のみ）

本機は、信号を受信したときに、自動的に画像の位置と鮮明さ（フェーズ / ピッチ）を調整して最適な画像を表示します。

自動画調整機能で完全に調整されていないと感じたときは
現在入力中の信号に合わせて再度自動で調整し直せます。
（下記の「オート」を参照。）

それでもさらに調整したいときは
手動で、鮮明さ（フェーズ / ピッチ）や位置（水平位置 / 垂直位置）を調整し直せます。

調整値は記憶されて、次回から同じ信号が入力されると、記憶した調整値になります。

■ 現在入力中の信号に合わせて自動で調整し直す（オート）（PC2 のみ）

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ⬆/⬇ ボタンを押して（画面モード）を選び、OK ボタンを押す。
画面モードメニューが出ます。

3 ⬆/⬇ ボタンを押して「オート」を選び、OK ボタンを押す。
フェーズ、ピッチ、水平位置、垂直位置の設定を、現在入力されている信号に最適な調整値にして、その調整値を記憶します。

■ 手動で鮮明さを調整し直す（フェーズ / ピッチ）（PC2 のみ）

画像の鮮明さを調整することができます。

1 解像度をコンピュータ側で 1280 × 768（MFM-HT75W）または 1280 × 1024（MFM-HT95）に設定する。

2 CD-ROM を入れる。

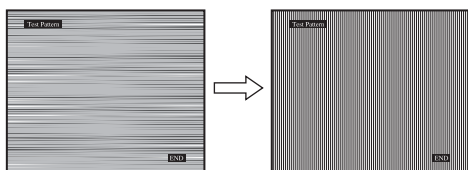
3 CD-ROM を起動して、地域とモデルを選んで、テストパターンを表示する。

Windows の場合
[Utility]→[Windows]/[Win Utility.exe] の順にマウスでクリックする。
Macintosh の場合
[Utility]→[Mac]/[Mac Utility] の順にマウスでクリックする。

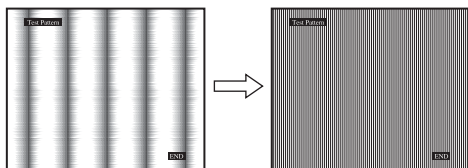
4 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

5 ↑/↓ ボタンを押して（画面モード）を選び、OK ボタンを押す。
画面モードメニューが出ます。

6 ↑/↓ ボタンを押して、「フェーズ」を選び、OK ボタンを押す。
フェーズ調整画面が出ます。

7 ↑/↓ ボタンで、横縞が最少になるように調整する。
テストパターンの横縞が最少になるように調整します。

8 OK ボタンを押す。
メニュー画面に戻ります。
画面全体に縦縞が見られるときは、続いてピッチ調整を行います。

9 ↑/↓ ボタンを押して、「ピッチ」を選び、OK ボタンを押す。
ピッチ調整画面が出ます。

10 ↑/↓ ボタンで、縦縞がなくなるように調整する。
テストパターンの大きな縦縞がなくなるように調整します。

11 画面上の END をマウスでクリックして、テストパターンを消す。

■ 手動で画像の位置を調整し直す（水平位置 / 垂直位置）（PC2 のみ）

画像が画面のまん中に出ないときに、画像の位置を調整します。

1 解像度をコンピュータ側で 1280 × 768（MFM-HT75W) または 1280 × 1024（MFM-HT95) に設定する。

2 CD-ROM を入れる。

3 CD-ROM を起動して、地域とモデルを選んで、テストパターンを表示する。
Windows の場合
[Utility]→[Windows]/[Win Utility.exe] の順にマウスでクリックする。
Macintosh の場合
[Utility]→[Mac]/[Mac Utility] の順にマウスでクリックする。

4 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

5 ↑/↓ ボタンを押して（画面モード）を選び、OK ボタンを押す。
画面モードメニューが出ます。

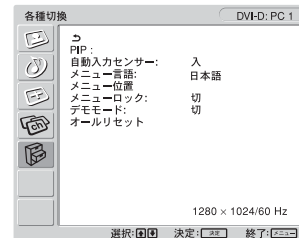
6 ↑/↓ ボタンを押して、「水平位置」または「垂直位置」を選び、OK ボタンを押す。
水平位置画面または垂直位置画面が出ます。

7 ↑/↓ ボタンを押して、テストパターンの外周の枠が全て画面に入るように調整する。

8 ↑/↓ 画面上の END をマウスでクリックして、テストパターンを消す。

各種切換メニュー

各種切換メニューでは、以下の項目が調整できます。

- PIP
- 自動入力センサー
- メニュー言語
- メニュー位置
- メニューロック
- デモモード
- オールリセット

■ PIP を設定する（PC1/PC 2のみ）

PIP 設定メニューを「PIP 入」にすると、二つの異なる入力信号を同時に表示することができます。主画面は画面いっぱいに表示されますが、子画面は画面の端に小さいサイズで表示されます。どちらの画面の音声を出力するか選ぶこともできます。

ご注意
- PIP 機能使用中に ボタンで入力信号を切り換えると、PIP 機能は解除されます。この場合、選んだ入力信号の映像が画面いっぱいに表示されます。PIP 機能を再び入にするには、PIP 設定メニューで「PIP 入」を選ぶか、 ボタンを押して PIP 入を選びます。（19 ページ）
- 各種切換メニューの「自動入力センサー」が「入」で、主画面にコンピュータの映像を表示しているとき本機が省電力モードになると、他のコンピュータがつながれていれば、自動的にその映像に切り換わります。この場合、PIP 機能は解除されます。PIP 機能を再び入にするには、PIP 設定メニューで「PIP 入」を選ぶか、 ボタンを押して PIP 入を選びます。（19 ページ）

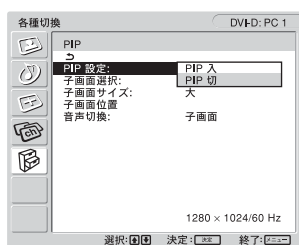
ちょっと一言
ボタンをくりかえし押して、PIP 機能を入／切することもできます。

PIP 機能を入／切する

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（各種切換）を選び、OK ボタンを押す。
各種切換メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP」を選び、OK ボタンを押す。

4 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP 設定」を選び、OK ボタンを押す。
PIP 設定メニューが出ます。

5 ↑/↓ ボタンを押して、入／切を選び、OK ボタンを押す。
・PIP 入： 二つの入力信号が画面に表示されます。子画面の入力信号、画面の位置、大きさ、およびどちらの画面の音声を出力するかを選ぶことができます。
・PIP 切： PIP 機能が解除されます。

子画面の入力を選ぶ（PIP 機能：入）

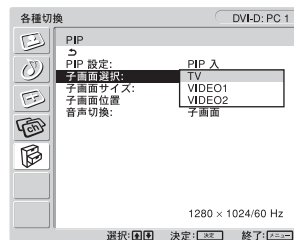
1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（各種切換）を選び、OK ボタンを押す。
各種切換メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP」を選び、OK ボタンを押す。

4 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP 設定」を選び、OK ボタンを押す。
PIP 設定メニューが出ます。

5 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP 入」を選び、OK ボタンを押す。

6 ↑/↓ ボタンを押して、「子画面選択」を選び、OK ボタンを押す。
子画面選択メニューが出ます。

7 ↑/↓ ボタンを押して、入力を選び、OK ボタンを押す。
・TV: テレビの映像が、子画面に表示されます。
・VIDEO1: ビデオ 1 端子につないだ映像機器の映像が、子画面に表示されます。
・VIDEO2： ビデオ 2 端子につないだ映像機器の映像が、子画面に表示されます。

ご注意
主画面 / 子画面に表示できる画像については、下表をご覧ください。

主画面	子画面
PC1	TV
PC2	ビデオ 1 ビデオ 2

子画面の大きさを変える（PIP 機能：入）

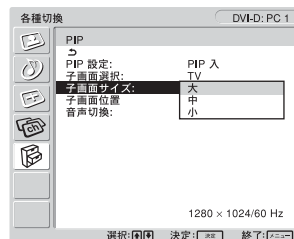
1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（各種切換）を選び、OK ボタンを押す。
各種切換メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP」を選び、OK ボタンを押す。

4 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP 設定」を選び、OK ボタンを押す。
PIP 設定メニューが出ます。

5 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP 入」を選び、OK ボタンを押す。

6 ↑/↓ ボタンを押して、「子画面サイズ」を選び、OK ボタンを押す。
子画面サイズメニューが出ます。

7 ↑/↓ ボタンを押して、サイズを選び、OK ボタンを押す。
・大
・中
・小

子画面の位置を変える（PIP 機能：入）

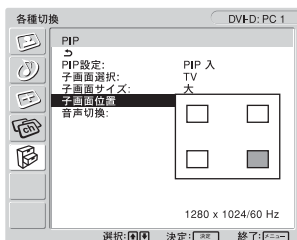
1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（各種切換）を選び、OK ボタンを押す。
各種切換メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP」を選び、OK ボタンを押す。

4 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP 設定」を選び、OK ボタンを押す。
PIP 設定メニューが出ます。

5 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP 入」を選び、OK ボタンを押す。

6 ↑/↓ ボタンを押して、「子画面位置」を選び、OK ボタンを押す。
子画面位置メニューが出ます。

7 ↑/↓ ボタンを押して、画面の位置を選び、OK ボタンを押す。
子画面を表示する位置を 4 か所から選べます。

音声を選ぶ（PIP 機能：入）

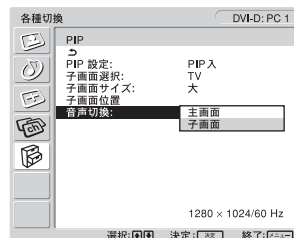
1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、（各種切換）を選び、OK ボタンを押す。
各種切換メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP」を選び、OK ボタンを押す。

4 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP 設定」を選び、OK ボタンを押す。
PIP 設定メニューが出ます。

5 ↑/↓ ボタンを押して、「PIP 入」を選び、OK ボタンを押す。

6 ↑/↓ ボタンを押して、「音声切換」を選び、OK ボタンを押す。
音声切換メニューが出ます。

7 ↑/↓ ボタンを押して、音声を出力する画面を選び、OK ボタンを押す。
・主画面：　主画面の映像の音声を出力します。
・子画面：　子画面の映像の音声を出力します。

ご注意
・音量の調整は、接続機器の側で行ってください。
・PIP 設定を「PIP 入」にすると、音声切換は初期設定（子画面）に戻ります。

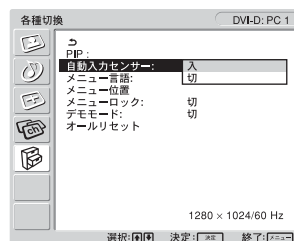
ちょっと一言
「子画面」を選ぶと、♪が画面左上に表示されます。

■「自動入力切換」を設定する（PC1 ／ PC2 のみ）

この機能を入にすると、本機は自動的に有効な入力を検知して、それに切り換えます。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

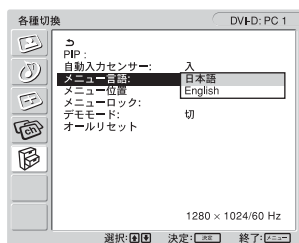
2 ↑/↓ ボタンを押して（各種切換）を選び、OK ボタンを押す。
各種切換メニューが出ます。

3 ↑/↓ を押して、「自動入力切換」を選び、OK ボタンを押す。
自動入力切換メニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、入／切を選び、OK ボタンを押す。
・入：　選んだ入力端子への信号がとぎれたり、信号が入力されていない場合、自動的に他の入力信号を表示します。
・切：　「自動入力切換」機能を切にします。ボタンまたは、入力切換ボタンを押して、入力信号を選びます。

■ 画面表示の言語を選ぶ

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、(各種切換）を選び、OK ボタンを押す。
各種切換メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「メニュー言語」を選び、OK ボタンを押す。
メニュー言語の選択肢が出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、画面表示の言語を選び、OK ボタンを押す。
・日本語
・English：英語

■ メニュー位置を設定する

メニュー画面に隠れた部分を見るときなどに、メニューの表示位置を変えられます。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、(各種切換）を選び、OK ボタンを押す。
各種切換メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「メニュー位置」を選び、OK ボタンを押す。
メニュー位置の選択肢が表示されます。

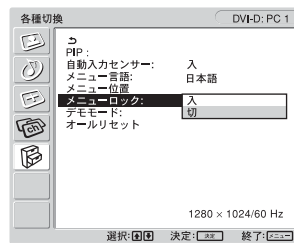
4 ↑/↓ ボタンを押して、希望の位置を選び、OK ボタンを押す。
あらかじめ設定された 9 か所から選びます。

■ メニューロックを設定する

本機の調整値や設定を誤って変えないように、ボタン操作をロックできます。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、(各種切換）を選び、OK ボタンを押す。
各種切換メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「メニューロック」を選び、OK ボタンを押す。
メニューロックの選択肢が出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、入／切を選ぶ。
・入： メニューロックします。メニューロックされているときは、MENU ボタンを押すと、各種切換メニューが表示され、ボタンを押すと、が表示されます。
・切： メニューロックを解除します。

メニューロックを解除する

1 MENU ボタンを押す。
各種切換メニューが出ます。

2 OK ボタンを押す。
メニューロックの選択肢が出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「切」を選び、OK ボタンを押す。
メニューロックが解除されます。

■ デモモードを設定する

デモモード機能を入 / 切します。
デモモードを「入」にすると、サンプル映像が表示されます。デモモードをやめるには、「デモモード」メニューで「切」を選びます。

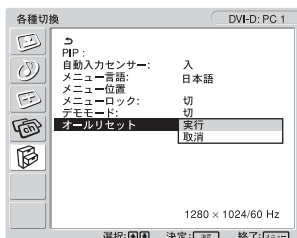
ご注意
デモモードの間は、（電源）スイッチと MENU ボタンのみ操作することができます。

■ お買い上げの時の設定に戻す

この機能を使うと、全ての設定がお買い上げの時の設定に戻ります。

1 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。

2 ↑/↓ ボタンを押して、(各種切換)を選び、OK ボタンを押す。
各種切換メニューが出ます。

3 ↑/↓ ボタンを押して、「オールリセット」を選び、OK ボタンを押す。
オールリセットメニューが出ます。

4 ↑/↓ ボタンを押して、モードを選び、OK ボタンを押す。

- 実行：　全ての調整値を初期設定値に戻します。ただし、「メニュー言語」の設定は戻りません。
- 取消：　オールリセットをキャンセルして、メニュー画面に戻ります。

ご注意
手順4で「実行」を選ぶと、テレビ設定メニューで行った調整も全て初期設定に戻ります。「実行」を選んだあとにテレビを見るには、チャンネルスキャンを行ってください。（16 ページ）

機能

音量を調節する

本機の音声入力端子につないだコンピュータやその他の機器の音声を、本機のスピーカーやヘッドホンで楽しめます。

音量調節バーを出して、音量を調節します。

1 メニュー画面が出ていないときに、VOL+/ −ボタンを押す。

2 VOL+/ −ボタンを押して、音量を調節する。
約 5 秒後に、自動的に音量調節バーは消えます。

ご注意
- メニュー画面が表示されている間は、本機の ↑/↓ ボタンを押して音量を調節できません。リモコンの音量＋／−ボタンを押して調節してください。
- リモコンの ↑/↓ ボタンを押して音量は調節できません。
- 本機が省電力状態になると、スピーカーおよびヘッドホンからの音声は聞こえなくなります。

省電力機能（パワーセーブ機能）

本機は、VESA、NUTEK のパワーセービングガイドラインに対応しています。DPMS（Display Power Management Signaling）準拠（アナログ信号）／DMPM（DVI Digital Monitor Power management）準拠（デジタル信号）のコンピュータやグラフィックボードにつなぐと、操作をしていないときは自動的に次のような省電力状態になります。

MFM-HT75W

本機の状態	消費電力	⏻（電源）ランプ
通常動作時	68 W（最大）	緑点灯
アクティブオフ *（ディープスリープ）**	1.2 W（最大）	オレンジ点灯

MFM-HT95

本機の状態	消費電力	⏻（電源）ランプ
通常動作時	74 W（最大）	緑点灯
アクティブオフ *（ディープスリープ）**	1.2 W（最大）	オレンジ点灯

* コンピュータが省電力状態になると、信号が入力されなくなるため、アクティブオフ状態になる前に「No Input Signal」と表示が出ます。約 5 秒後、本機も省電力状態になります。
** 「ディープスリープ」は、EPA（Environmental Protection Agency）の定めた待機時の消費電力抑制状態です。

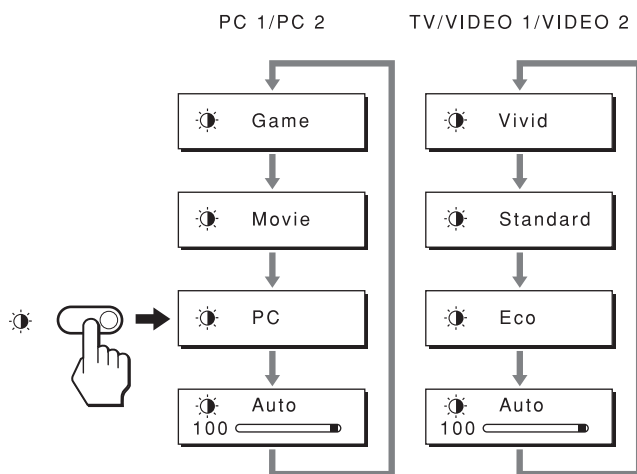
ちょっと一言
本機がスタンバイ状態にあるか、オフタイマーが働いているときは、⏻（電源）ランプは赤色に点灯します。

画質モードを切り換える

☼ボタンを押すか、画質調整メニューの「画質モード」で選んでください。「Auto」を選んだ場合、本機は周囲の明るさに応じて、自動的に画面の明るさを調整します（自動輝度調整機能）。詳しくは、「自動輝度調整機能（ブライトセンサー）」をご覧ください。
「画質モード」メニューについて詳しくは、21 ページをご覧ください。
☼ボタンについて詳しくは、以下をご覧ください。

ボタンをくり返し押す。
押すたびに、次のように画質モードが切り換わります。

PC 1/PC 2
☼ Game → ☼ Movie → ☼ PC → ☼ Auto 100

TV/VIDEO 1/VIDEO 2
☼ Vivid → ☼ Standard → ☼ Eco → ☼ Auto 100

モード名が表示されて、モードが切り換わります。表示は約 5 秒後に消えます。

自動輝度調整機能（ブライトセンサー）

本機は周囲の明るさに応じて、自動的に画面の明るさを調整します。
☼ボタンを押すか、画質調整メニューの「画質モード」で「Auto」を選ぶと、自動的に最適な画面の明るさに調整されます。（PC1/PC2 の初期設定は「Movie」、TV/ビデオ 1/ ビデオ 2 は「Vivid」になっています。）
☼ボタンで「Auto」を選ぶと、調整バーが表示されますので、⬆/⬇ ボタンで画面の明るさのレベルを調整します。

自動画質調整機能（PC2 のみ）

本機は、信号を受信したときに、自動的に画像の位置と鮮明さ（フェーズ / ピッチ）を調整して、最適な画像を表示します。

お買い上げ時に設定されている表示モード

本機には、入力信号に合わせて最適な画質で表示できるように、代表的な表示モードがお買い上げ時に設定されています。信号がこのモードと同じであれば、自動的にあらかじめ設定された最適な調整値で表示されます。

表示モード以外の信号のときは

表示モード以外の信号が入力された場合でも、下記の周波数の間であれば、信号を初めて受信したときに自動画質調整機能が働いて、きれいな画像を表示します。

MFM-HT75W
水平周波数：　28 ～ 69 kHz
垂直周波数：　48 ～ 85 Hz
MFM-HT95
水平周波数：　28 ～ 86 kHz
垂直周波数：　48 ～ 85 Hz（解像度 1280 × 1024 以下）、48 ～ 75 Hz(解像度 1280 × 1024)

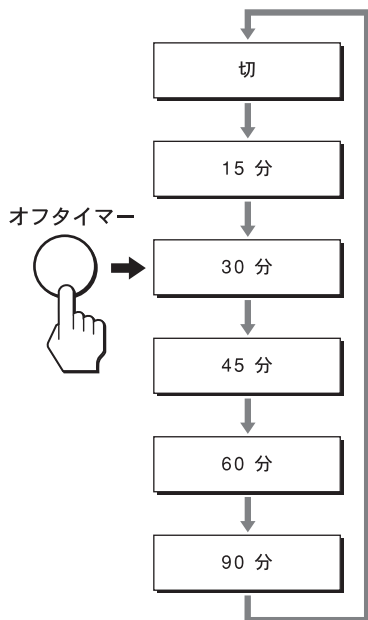
代表的な表示モード以外の信号を初めて受信したときには、画面表示までに通常より時間がかかることがあります。この調整値は自動的に本機に記憶され、次からは表示モードの信号と同様に動作するようになります。

手動でフェーズやピッチ、画像の位置を調整したときは

入力信号によっては、自動調整機能だけでは完全に調整できない場合もあります。この場合は、手動で調整をします（26 ページ）。手動で調整すると、それらの調整値はユーザーモードとして記憶され、同じ信号が入力されるたびに、自動的にその調整値が選ばれるようになります。

本機の電源を自動的に切る（TV/ ビデオ１ / ビデオ２のみ）

あらかじめ設定した時間（15 分、30 分、45 分、60 分または 90 分）が過ぎると、自動的に電源が切れるように設定することができます。

リモコンのオフタイマーボタンをくりかえし押す。
押すたびに、次のように切り換ります。

オフタイマーを解除するには
リモコンのオフタイマーボタンをくり返し押して、「切」を選ぶ。

- 本機の電源をいったん切り、再び入れなおすと、オフタイマーは解除されます。
- オフタイマー設定中は、⏻（電源）ランプが赤色に点灯します。
- オフタイマーがはたらいていているときに、オフタイマーボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。この表示は、数秒後に消えます。
- オフタイマーがはたらいているときに、入力を PC1、PC2 に切り換えると、オフタイマーは解除されます。

故障かな？と思ったら

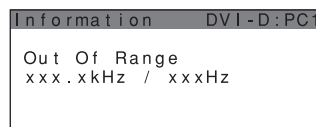
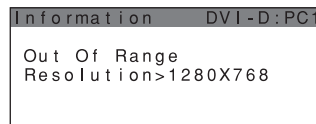
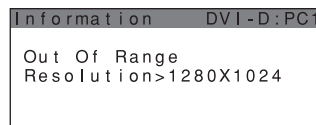
お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

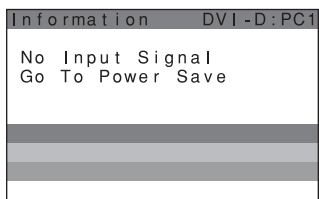
表示メッセージについて

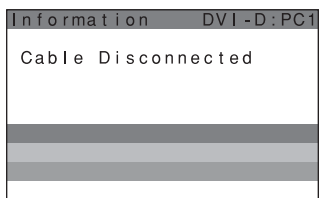
入力信号が正しくないときは、画面に次のような表示メッセージが出ます。このときは、「本機の症状と対処のしかた」（35 ページ）に従ってください。

「Out Of Range」と表示されている場合

入力信号の周波数が、本機の仕様に合っていません。以下を確認してください。
詳しくは、「本機の症状と対処のしかた」（35 ページ）をご覧ください。

xxx.x kHz / xxx Hz と表示されている場合
水平または垂直周波数が、本機の仕様に合っていません。
現在入力されている信号の水平 / 垂直周波数が表示されます。

Resolution > 1280 × 768 と表示されている場合 MFM-HT75W
解像度が、本機の仕様（1280 × 768 以下）に合っていません。

Resolution > 1280 × 1024 と表示されている場合 MFM-HT95
解像度が、本機の仕様（1280 × 1024 以下）に合っていません。

「No Input Signal」と表示された場合

現在選んでいる入力端子からの入力信号がありません。

「Cable Disconnected」と表示された場合

現在選んでいる入力端子のビデオ信号ケーブルがはずれています。

「オフタイマーによりまもなく電源が切れます」と表示された場合

オフタイマー機能により、本機の電源が 1 分以内に切れます。

「まもなく電源が切れます」と表示された場合

自動オフタイマー機能により、本機の電源が 1 分以内に切れます。
放送終了後、または放送のないチャンネルを映した状態で約 10 分たつと、「まもなく電源が切れます」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

「この操作は無効です」と表示された場合

選んだ機能が現在使用できないことを示します。

本機の症状と対処のしかた

本機以外（コンピュータなど）が原因の場合は、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

PC1 ／ PC2

こんなときは	原因と対処のしかた
画像が出ない。	
⏻（電源）ランプが点灯していない。または、⏻（電源）スイッチを押しても ⏻（電源）ランプが点灯しない。	・電源コードが正しくつながれているか確認する。
「Cable Disconnected」という警告表示が出ている。	・ビデオ信号ケーブルが正しくつながれているか、全てのプラグがしっかりと差し込まれているかを確認する。（11 ページ） ・ビデオ信号ケーブルのピンが曲がっていないか、しっかりと差し込まれているかを確認する。 ・入力設定が正しいか確認する（14 ページ）。 ・付属品ではないビデオ信号ケーブルを使っている。付属品ではないビデオ信号ケーブルを使っていると、「Cable Disconnected」と表示が出ることがあります。故障ではありません。
「No Input Signal」という警告表示が出ている。	・ビデオ信号ケーブルが正しくつながれているか、全てのプラグがコンセントにしっかりと差し込まれているかを確認する。（11 ページ） ・ビデオ信号ケーブルのピンが曲がっていないか、しっかりと差し込まれているかを確認する。 ・入力設定が正しいか確認する（14 ページ）。 **■本機以外（コンピュータなど）が原因の場合** ・コンピュータが省電力状態になっている。キーボードのキーのどれかを押してみるか、マウスを動かしてみる。 ・コンピュータのグラフィックボードが正しくバススロットに差し込まれているか確認する。 ・コンピュータの電源を入れる。 ・コンピュータを再起動する。
「Out Of Range」という警告表示が出ている（33 ページ）。	**■本機以外（コンピュータなど）が原因の場合** ・入力信号の周波数が、本機の仕様に合っていない。本機をつなぐ前につないでいたディスプレイがあるときは、そのディスプレイにつなぎ換えて、画像が出るか確認する。画像が出たら、コンピュータで以下の範囲に設定する。 **MFM-HT75W** 水平周波数：28 ～ 69 kHz（アナログ RGB）、28 ～ 48 kHz（デジタル RGB） 垂直周波数：48 ～ 85 Hz（アナログ RGB）、60 Hz（デジタル RGB） 解像度：1280 × 768 以下 **MFM-HT95** 水平周波数：28 ～ 86 kHz（アナログ RGB）、28 ～ 64 kHz（デジタル RGB） 垂直周波数：48 ～ 85 Hz（アナログ RGB、解像度 1280 × 1024 以下）、48 ～ 75 Hz（アナログ RGB、解像度 1280 × 1024）、60 Hz（デジタル RGB） 解像度：1280 × 1024 以下 **MFM-HT75W のみ** SXGA の映像は、セーフディスプレイモードで表示されますが、画像がくっきりと映らない場合があります。コンピュータで解像度を 1280 × 768 に設定してください。
Windows を使用している。	・本機をつなぐ前につないでいたディスプレイがあるときは、そのディスプレイにつなぎ換えて、以下を行う。Windows のデバイス選択画面で製造元に SONY を選び、本機の型名（MFM-HT75W または MFM-HT95）を選ぶ。本機の型名が表示されないときは、「プラグ アンド プレイ」を選ぶ。
Macintosh とつないでいる。	・必要に応じて市販のアダプタをお使いください。アダプタは、先にコンピュータに差し込んでから、ビデオ信号ケーブルにつなぎます。

こんなときは	原因と対処のしかた
画面がチラついたりノイズが出る。	・フェーズとピッチを調整する（PC2 のみ）（26 ページ）。 **■本機以外（コンピュータなど）が原因の場合** ・お使いのグラフィックボードの正しい設定を、グラフィックボードの取扱説明書で確認する。 ・入力信号のグラフィックモード（VESA、Macintosh19″ カラーなど）と周波数が、本機で使用できる範囲かを確認する。ただし本機で使用できる範囲でも、グラフィックボードによっては同期パルス幅が合わないため、きれいに画像を映せないことがあります。 ・本機はインターレース信号には対応していません。プログレッシブ信号に設定してください。 ・コンピュータのリフレッシュレート（垂直周波数）を、最適な画面になるように設定する（60 Hz を推奨します）。
画像がくっきりしていない。	・コントラストや明るさを調整する（21 ページ）。 ・シャープネスを調整する（22 ページ）。 ・ピッチとフェーズを調整する（PC2 のみ）（26 ページ）。 **■本機以外（コンピュータなど）が原因の場合** ・コンピュータで解像度を 1280 × 768（MFM-HT75W）または 1280 × 1024（MFM-HT95）に設定する。
画像が二重、三重になる。	・ビデオ信号ケーブルの延長コードやスイッチャーボックスの使用をやめる。 ・全てのプラグがしっかりと差し込まれているかを確認する。
画像の位置がずれている、または画像の大きさが正しくない。（PC2 のみ）	・ピッチとフェーズを調整する（26 ページ）。 ・画像の位置を調整する（27 ページ）。ビデオモードによっては、画像が画面全体に広がらないことがあります。
画像が小さい。	**■本機以外（コンピュータなど）が原因の場合** コンピュータで解像度を 1280 × 768（MFM-HT75W）または 1280 × 1024（MFM-HT95）に設定する。
画像が暗い。	・バックライトを調整する（21 ページ）。 ・明るさを調整する（22 ページ）。 ・ガンマを調整する（23 ページ）。 ・電源を入れたあと、画面が明るくなるまでしばらく時間がかかります。 ・画質モードが「Auto」で、周りの明るさが暗いとき、画面が暗くなることがあります（21、32 ページ）。
画面に波模様（モアレ）や縦縞が出る。	・フェーズとピッチを調整する（PC2 のみ）（21 ページ）。
色むらがある。	・フェーズとピッチを調整する（PC2 のみ）（21 ページ）。
白色が白く見えない。	・色温度を調整する（22 ページ）。
本機のボタンが働かない。（ マークが画面に出る）	・「メニューロック」が「入」になっていれば、「切」にする（30 ページ）。
メニュー画面上の解像度表示が正しくない。	・グラフィックボードの設定によっては、メニュー画面上の解像度表示とコンピュータでの設定が一致しないことがあります。 **■本機以外（コンピュータなど）が原因の場合** **MFM-HT75W のみ** ディスプレイをつなぎかえた場合、コンピュータがセーフモードになっていることがあります。MENU ボタンを押してメニュー画面を出し、画面右下に表示される解像度とリフレッシュレート（垂直周波数）が 1280 × 768/60 Hz であるか確認してください。それ以外の値が表示された場合、本機の前につないでいたディスプレイにつなぎかえて、コンピュータの映像出力設定を 1280 × 768/60 Hz にしてください。1280 × 768/60 Hz に設定できない場合は、コンピュータのグラフィックボードが本機の仕様にあっていません。

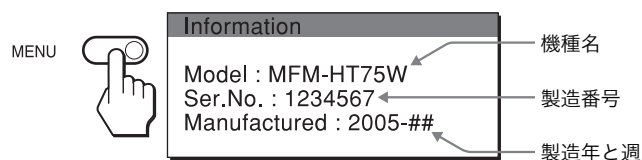
TV/VIDEO1/VIDEO2

こんなときは	原因と対処のしかた
画像が出ない。	
チャンネルが受信できない。	・電源コードが正しくつながれているか確認する。 ・本機の電源を入れる。 ・アンテナケーブルの接続を確認する。
音が出ない / 音にノイズが混じる。	
画像はきれいだが、音声が出ない。	・音声ケーブルの接続を確認する。 ・音量を確認する。 ・消音ボタンか VOL ＋／－ボタンを押して、「消音」を画面から消す（19、31 ページ）。 ・ヘッドホンを抜く。
画面の上下および左右に、黒い帯が現れる。	・映像ソースにより、黒い帯が現れることがあります。「ズーム」メニューで、画面サイズを調整します（14 ページ）。
リモコンが動かない。	・リモコンの電池が消耗しているかもしれません。新しい電池と交換してください。 ・電池の＋／－が正しく挿入されているか確認する。 ・本機の ⏻（電源）ランプが点灯していない場合、本機の ⏻（電源）スイッチを押す。 ・テレビの機能を操作したい場合、入力信号に TV が選ばれているか確認する。 ・PIP 機能をテレビの映像に使う場合、子画面に TV の入力信号が選ばれているか確認する。
テレビの映像が乱れる。	・「NR」を「入」にして、ノイズを減らす（23 ページ）。 ・「シャープネス」の設定値を下げる（22 ページ）。

本機の情報（インフォメーション）を表示する

信号を入力しているときに、インフォメーション画面が出るまで本機の MENU ボタンを 5 秒以上押したままにする。

もう一度、MENU ボタンを押すと、消えます。

例

故障のときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。また、お問い合せのときは次のことをお知らせください。

- 型名：MFM-HT75W または MFM-HT95
- 製造番号：
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- つないでいるコンピュータ、およびグラフィックボードの仕様と名前：
- 入力信号の種類（PC1/PC2/TV/ ビデオ 1/ ビデオ 2）

主な仕様

LCD パネル
LCD パネル a-Si TFT アクティブマトリックス
画面サイズ
17 インチ（43 cm）（MFM-HT75W）
19 インチ（48 cm）（MFM-HT95）
解像度
MFM-HT75W
水平：最大 1280 ドット
垂直：最大 768 ライン
MFM-HT95
水平：最大 1280 ドット
垂直：最大 1024 ライン

入力端子
PC1
信号フォーマット：
デジタル RGB（DVI-D）
動作周波数：
MFM-HT75W
水平：28 ～ 48 kHz
垂直：60 Hz
MFM-HT95
水平：28 ～ 64 kHz
垂直：60 Hz
音声入力：
ステレオミニジャック、500 mVrms
PC2
信号フォーマット：
アナログ RGB（HD-15D-sub）
動作周波数：
MFM-HT75W
水平：28 ～ 69 kHz
垂直：48 ～ 85 Hz
MFM-HT95
水平：28 ～ 86 kHz
垂直：48 ～ 85 Hz（解像度 1280 × 1024 以下）、48 ～ 75 Hz（解像度 1280 × 1024）
信号レベル：
RGB 信号：0.7 Vp-p、75 Ω、正極性
同期信号：
TTL レベル、2.2 kΩ、極性自由（水平／垂直分離または複合同期信号）
0.3 Vp-p、75 Ω、負極性（緑信号に同期）
音声入力：
ステレオミニジャック、500 mVrms
TV
受信方式：　NTSC 方式
受信チャンネル：
VHF：　1 ～ 12 チャンネル
UHF：　13 ～ 62 チャンネル
CATV：　C13 ～ C38（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
アンテナ端子：VHF/UHF、75Ω F 型アンテナ端子
ビデオ 1
映像入力：
D4 映像
Y: 1.0 Vp-p、75 Ω 不平衡、負同期
P_B: 0.7 Vp-p、75 Ω
P_R: 0.7 Vp-p、75 Ω
入力フォーマット：
525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）
音声入力：
RCA ピンジャック（ステレオ）、500 mVrms
ビデオ 2
映像入力：
S 映像（4 ピンミニ DIN）
Y: 1.0 Vp-p、75 Ω 不平衡、負同期
C: 0.286 Vp-p（バースト信号）、75 Ω
コンポジット（RCA）
1.0 Vp-p、75 Ω、負同期
映像フォーマット：NTSC、PAL、SECAM
音声入力：
RCA ピンジャック（ステレオ）、500 mVrms

プラグ＆プレイ機能
VESA、DDC2B

スピーカー出力
最大 3 W × 2 ＋ 5 W

ヘッドホン端子
ステレオミニジャック

使用電源
100 ～ 240 V AC、50 ～ 60 Hz
最大：1.3 A（MFM-HT75W）
最大：1.4 A（MFM-HT95）

消費電力
動作時（最大）： 68 W（MFM-HT75W）
74 W（MFM-HT95）
スタンバイ時（最大）：1.2 W

動作温度
0 ～ 35 ℃

最大外形寸法（幅／高さ／奥行き）
ディスプレイ（正立状態）：
MFM-HT75W
約 450.2 × 353.5 × 176 mm
MFM-HT95
約 466.6 × 437 × 185 mm

質量
MFM-HT75W
約 6.3 kg
MFM-HT95
約 7.8 kg

付属品
11 ページをご覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。